

【1月 3学期始業式 学校長の話（全校放送）】 R3. 1. 7（木） 内灘中学校

新しい年、2021年、令和3年を迎えました。新しい年という「節目」を迎えて、皆さん色々な夢や希望を抱いているのではないかと思います。3学期は一番短い学期ですが、この学期は、1年のまとめをすると同時に、進学や進級に向けての準備をする大切な学期です。やるべきことにしっかりと取り組み、力を蓄えて、4月からの飛躍の土台を作ってほしいと思います。今日は2つのことについてお話をします。

1つ目は、新型コロナウイルス感染症についてです。ここへきて、感染が再び広がりを見せるなど、気が抜けない状況が続いています。今私たちにできることは、消毒、換気、検温、人との距離をしっかりとる、不要不急の外出は避ける等の防止策に確実に取り組むことです。もし、熱がある、味やにおいを感じない、のどが痛い、頭痛がするといった症状があれば、学校を休んで病院を受診したり、登校後このような症状を感じたら、すぐに先生に申し出るなどしてください。ただし、このウイルスは、十分に注意しても感染することがあります。誰もがかかる可能性があるわけです。万が一感染者が出た場合、個人や家族を誹謗中傷すること、つまり、根拠のない悪口を言いふらして、傷つけることが絶対にないようにしましょう。いじめ撲滅に取り組んでいる皆さんの力を信じています。

2つ目は、メンタルトレーニング等で有名な西田文郎さんの「かもの法則」のお話をしたいと思います。

人の心には2羽のかもが棲んでいるそうです。一羽は「だめかも」「できないかも」「ムリかも」「うまくいかないかも」という「否定的なかも」です。もう一羽は「できるかも」「チャンスかも」「うまくいくかも」という「肯定的なかも」だそうです。

「否定的なかも」は人から実行力を奪い、「できないかも」は「できないだろう」となり、さらに「きっとできない」になり、最後は「できっこない」となります。「否定的なかも」に囚われると、人はどんどん悲観的になってしまいます。そんな時、多くの人は自分以外の誰かや環境のせいにします。「先生の教え方が悪いせいだ」「家庭環境が悪いからだ」などと責任転嫁し自分を守ろうとします。人に責任を押しつけるような思考習慣をしている限り、自分で努力をしようとしませんから、現状を変えることはできません。もし、このように思うようになったら、まずいと思ってください。

一方「肯定的なかも」は、できるかもと思って行動しますから、その行動を反省したり、新しいやり方を工夫したり等、様々な改善をして、やがて「できる」といった確信へと近づいていきます。

今は新型コロナウイルス感染拡大で大変な時期ですが、マイナスに考えたり、責任転嫁をせずに、自分はできると信じて前向きに物事に取り組んでほしいと思います。いつも言っているように、自分の将来は自分で切り開いていくものであり、最終的には自分が責任を負うものです。皆さんも是非、心の中に「肯定的なかも」を持って頑張ってほしいと思います。

さて、3年生はいよいよ9日から、私立高校の推薦入試が始まり、1月29日には、私立高校の一般入試が行われます。最後の一瞬まで、絶対に気を抜いてはいけません。すでに願書は書いたのですから、迷うことなく、油断をせずに最後の最後まで、もがき苦しみなながらも、目標に向けて最善の努力を「やり抜いて」ほしいと思います。期待しています。

2年生、1年生は、それぞれ、「立志式」、「職業人に学ぶ」といった行事や授業が行われます。そろそろ、自分の将来についてしっかりと考えなければならない時期にきています。将来に対する夢や目標を持てば、行動や習慣が変わります。これらの行事や授業を通して、しっかりと自分の将来を見つめてください。